

## 平成16年度事務事業評価表

担当	教育委員会	博物館	内線等	8013
事業コード		事務事業名	博物館施設維持管理事業	
根拠法令等	蒲郡市博物館の設置及び管理に関する条例	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化

### ②事務事業の内容

対象（受益者）	市民の博物館利用に関して
手 段	展示室、収蔵庫等の適切な維持管理を行い
想定する成果	地方文化の理解と発展に寄与する。

### ③事業の概要

維持管理経費	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
設備保守等委託料	4,769千円	4,158千円	4,008千円
土地賃借料	1,162千円	1,162千円	0千円
光熱水費	3,647千円	3,897千円	3,927千円
事務嘱託、修繕、需用費	3,676千円	3,316千円	5,370千円

### ④成果指標

成果指標名	①	②
	入館者1人当りに要する経費	延床面積1㎡当りに要する経費
成果指標の説明	維持管理経費／入館者数	維持管理経費／延床面積

### ⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	272円
	実績	267円	255円	—
成果指標 ②	計画	—	—	5,679円
	実績	5,657円	5,349円	—
事業費	事業費	13,254	12,533	13,305
	人件費	5,682	5,625	5,796
	(人数)	0.7	0.7	0.7
	合計	18,936	18,158	19,101
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	18,936	18,158	19,101

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	常設展示室の様態替えを市内外から強く求められており、その面での来館者の満足度は高いと言えない。
経済効率性	2	2	事業費としては固定費が殆どである。ここ数年、委託料や光熱水費の節減に努めてきたが、更なるコスト削減を目指したい。
事務効率性	2	2	学芸員の活動の幅を広げ、学校現場などへの出張講座も考えていきたい。来館者への説明も充実させる必要がある。
必要性	3	3	蒲郡の歴史・文化の拠点施設として必要である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	市民の作品発表の場として定着してきている。また、子供たちの総合学習の場としても活用されている。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	当面の増改築は困難なので、まずは教育施設としての足元を固めながら、本来の博物館のあるべき姿を見つめ直していきたい。
------	---	---	-----------------------------------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

1 保守委託料の削減	清掃委託の回数削減、警備委託のバケツ回線化、電話保守委託料の廃止、庭園管理委託料などの減額。
2 光熱水費の削減	空調温度の適正化と小まめなオンオフ、来館者に合わせた照明調整、プロパンガス廃止。
3 その他の削減	館内案内板・表示板を職員手作りのものとしている。

⑧今後改善すべき点

経費の削減を念頭に置きながら、常設展示について経費負担の少ない方法での様態替えを研究・検討していきたい。例えば、民具が実際に使用されていた当時の写真展示と解説、ロビーを利用した展示工夫、見学者（主として子供たち）へ配布するリーフレットの作成など。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⑨平成18年度予算に反映する項目

敷地内草刈りについて、シルバー人材センター委託から職員作業に変更。
-----------------------------------

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

## 平成16年度事務事業評価表

担当	教育委員会	博物館	内線等	8013
事業コード		事務事業名	郷土資料の収集保管及び調査研究事業	
根拠法令等	蒲郡市博物館の設置及び管理に関する条例	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化

### ②事務事業の内容

対象(受益者)	市内に存する郷土資料について
手 段	収集・保管・展示を図りながら、必要に応じて調査研究を行い
想定する成果	本市における歴史的遺産としての評価を定めつつ後世に伝える。

### ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
寄贈資料点数	813点	1,826点	1,000点
保管資料件数 (寄託借用含む)	15,106件 (資料により1件につき1点とは 限らない 以下同右)	15,436件	15,500件

### ④成果指標

成果指標名	①	②
	学芸員1人当りの寄贈資料点数	寄贈(収集)資料1点当りの経費
成果指標の説明	寄贈資料点数/学芸員数(兼務を含む)	収集のみの人件費(学芸員0.1人分)/寄贈点数

### ⑤事業の進捗状況 ( 一般会計 ) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	333点
	実績	271点	609点	—
成果指標 ②	計画	—	—	828円
	実績	998円	440円	—
事業費	事業費	3,598	257	513
	人件費	3,247	3,214	3,312
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	6,845	3,471	3,825
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,845	3,471	3,825

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	最近の寄贈資料は、市史編さんに関連して文書等の歴史的なものが増えてきている。収蔵資料全般としては、農漁具を中心に充実しつつある。
経済効率性	2	2	収集に要する直接経費は少ないので、「市民全体のお蔵（収蔵施設）」としての存在価値は高いと考える。
事務効率性	1	1	収集量に比し、調査研究の面が遅れている。
必要性	3	3	博物館の存在が、民具や歴史資料の廃棄や焼却を、かなりの程度で防いでいると推測される。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	市民の間でも「捨てる前に博物館へ一報を」が、かなり浸透している。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	収蔵資料は博物館の生命とも言うべきものであり、今後も収集・保管に努め、後世に伝えていきたい。 ただ、収蔵スペースには限りがあるので、保管方法を含め、今後検討していく必要がある。
------	---	---	---------------------------------------------------------------------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

投資的な面でいえば、仮収蔵庫（プレハブ2棟）の建設及び第3収蔵庫の積層化で、不足している収蔵スペースを補ってきた。  
収蔵管理の面では、目録を、カード方式に加えてパソコンによるデータベースも作成している。

⑧今後改善すべき点

農業・漁業や織物関係の生産道具はある程度充実しているが、一般的な生活道具がまだまだ不足している。これは、庶民の生活道具が博物館には馴染まないと誤解されているためで、広報活動の至らなさを痛感している。美術資料についても、蒲郡ゆかりの作品をテーマに収集しているが、ここ数年収蔵資料購入費を有効的に使っていないのが現状である。

調査研究は、当面市史編さんの中で市民にフィードバックさせていく。また、市内各地に存する資料のうち、指定文化財には至らないが広く市民に紹介したい物件の調査も進めていく予定である。

⑨平成18年度予算に反映する項目

市内に存する資料の調査研究の一環として、「蒲郡の建築物・構造物調査」を平成17年度から着手しているが、平成18年度には「専門家による調査費」を予算要望していきたい。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載